

アクアリウム学

(授業概要)

ペットショップ・アクアショップなどの施設において水槽管理をする上で使用する機材また道具の基本的な使用方法を学習する。また売上を上げるために必要な知識、水槽の見せ方などを学習する。

科	生命科学科	教員	山内
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	72

目標

1学期

ペットショップで取り扱われていることが多い、魚種の飼育方法や機材の使用方を理解し、担当水槽において実践できるようにする。

2学期

主に熱帯魚を中心とした水槽でのレイアウトの基本を理解し、見る人にとっての価値を高めることができる水槽を作成できるようにする。また、実習においてポップや作業マニュアルなどを用いて水槽内だけではなく、棚や壁面などもアレンジを加え、ペットショップさながらの空間を学生たちの手で作り上げる。

授業計画

1学期

- 1回 ショップエリアの水槽の管理方法解説、給餌の曜日担当決め、水槽管理実習
- 2回 水槽の立ち上げとリセット、生体の移動、水槽管理実習
- 3回 水槽の立ち上げとリセット、生体の移動、水槽管理実習
- 4回 投げ込み式フィルター・底面フィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 5回 外掛けフィルター・スポンジフィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 6回 外部フィルターについて（メンテナンス、設置方法）、水槽管理実習
- 7回 伝言ゲーム（フィルターのメンテナンス）、水槽管理実習
- 8回 魚種解説①（カラシン）、水槽管理実習
- 9回 魚種解説②（カダヤシ）、水槽管理実習
- 10回 魚種解説③（シクリッド・アナバス）、水槽管理実習
- 11回 魚種解説④（ナマズ）、水槽管理実習
- 12回 伝言ゲーム（魚種）、水槽管理実習
- 13回 前期試験
- 14回 試験返却、大掃除、長期休みの給餌当番決め

2学期

- 15回 水槽管理実習（復習も兼ねて全ての水槽で換水）

- 16回 魚種解説⑤ (コイ・ドジョウ)、水槽管理実習
- 17回 魚種解説⑥ (古代魚・その他の魚種・エビ・貝類など)、水槽管理実習
- 18回 魚種解説⑧ (金魚・メダカ・日本淡水魚)、水槽管理実習
- 19回 餌解説 (乾燥・冷凍・生餌・人工)、水槽管理実習
- 20回 照明器具、保温・保冷器具解説、水槽管理実習
- 21回 伝言ゲーム (餌または照明器具)、水槽管理実習
- 22回 床材解説、水槽管理実習
- 23回 水草解説①、水槽管理実習
- 24回 水草解説②、水槽管理実習
- 25回 水草のトリミング方法について、水槽管理実習
- 26回 レイアウト構図・水槽配置計画、水槽管理実習
- 27回 レイアウト構図・水槽配置計画、水槽管理実習
- 28回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 29回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 30回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 31回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 32回 レイアウト実践、引き継ぎマニュアル作成、水槽管理実習
- 33回 伝言ゲーム (水草)、水槽管理実習
- 34回 試験
- 35回 試験返却、水槽管理実習
- 36回 大掃除、後輩への引き継ぎ最終準備、水槽管理実習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、実演、実習

きょうざい
教材

レイアウトに使える水草 500 種図鑑、はじめての熱帯魚と水草 アクアリウム BOOK

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

担当水槽におけるの通常メンテナンス

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

ペットショップでのアクアコーナー担当経験あり

アニマルケア概論

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

か 科	生命科学科	きょういん 教員	荻野
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしやうねんじ 対象年次	2年次	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	36

もくひやう 目標

1 学期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、一人でできるようになる。

2 学期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できるようになる。

じゆぎやうけいかく 授業計画

1 学期

- 1回 1 動物を飼う 「環境編」
- 2回 1 動物を飼う 「予防編」
- 3回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」
- 4回 2 ペットとストレス
- 5回 3・4 ストレスの原因
- 6回 5 アロマセラピー
- 7回 6 精油とは
- 8回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 9回 9・10 精油の抽出方法
- 10回 11・12 においと嗅覚
- 11回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 12回 テスト
- 13回 テスト解答

- 14回 16 アロマセラピーと基材
15回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方

2学期

- 16回 19・20 ペットのアロマセラピー
17回 21・22 安全に使用するために
18回 ホリスティックマッサージとは
19回 ①なでる 手法実技
20回 ②たたく 手法実技
21回 ③引っ張る 手法実技
22回 ④揺らす 手法実技
23回 ⑤もむ 手法実技
24回 ⑥押しまわす 手法実技
25回 ⑦手を当てる 手法実技
26回 応用編
27回 応用編
28回 技術確認
29回 技術確認
30回 実技テスト
31回 実技テスト
32回 実技テスト ※実技テスト終了時は「栄養管理について」
33回 実技テスト ※実技テスト終了時は「栄養管理について」
34回 テスト（筆記）
35回 テスト（筆記解答）
36回 年間締め授業

授業の方法

講義、演習、グループワーク

教材

ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10枚 精油一覧表

評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないよう行動する

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

株式会社 IK 工業ペット事業部 D-HAB 経営

グルーミング概論・実習 II

(授業概要)

シャンプー犬のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、耳掃除、バリカン、ブラッシング、シャンプー、ドライイング等を行い、1年を通してグルーミング技術や犬の扱い方について学ぶ。

科	生命科学科	教員	白瀬 貴子
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	36×5時間

目標

1学期

ベーシックマスターライセンスの取得を目指す

全体で時間を計り、各自で時間配分を意識し実習を行う

(チワワ：100分 ダックスフンド・パピヨン：115分)

2学期

1つ1つの作業を丁寧にいき、仕上がりを綺麗にする

ハサミの動かし方を理解し、希望者のみ飛節・手根球下カット・お尻カットを行う

授業計画

1学期

- 1回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 2回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 3回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 4回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 5回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 6回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 7回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 8回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 9回 グルーミング実習 (2~3人で1頭)
- 10回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 11回 グルーミング実習 (1~2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 12回 グルーミング実習 (1~2人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 13回 グルーミング実習・ライセンス試験
- 14回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)

2学期

- 15回 モデルグルーミング (飛節・手根球下・お尻カット)
- 16回 グルーミング実習 (1~2人で1頭) 飛節・手根球下カット開始

- 17回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 18回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 19回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 20回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 21回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 22回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 23回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 24回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 25回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 26回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 27回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 28回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 29回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 30回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 31回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 32回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 33回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 34回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 35回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)
- 36回 グルーミング実習 (1～2人で1頭)

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

実技実習

きょうざい
教材

グルーミング用品

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

コンパニオンキャットⅡ

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、ペットショップ、動物保護、動物看護）を目指すうえでしておくべき猫の基礎知識について、ブリーディング、老猫のケア、猫のシャンプー、カラー遺伝を中心に全般的な知識を習得する

科	生命科学科	教員	上田
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

目標

1 学期

来客されるお客様がブリードされる時細かく、お客様が安心してブリード出来るように、正しく説明できるようになる。

大事な猫ちゃんとの別れを猫にとっても飼い主にとっても後悔の内容にオーナー様に話せるようになる。

2 学期

カラーを知ることで、販売する猫のカラーが正しいか又お客様から質問された時、解りやすく説明できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1回 ブリーディング① (正しいブリーディング)
- 2回 ブリーディング② (4つのブリーディング①)
- 3回 ブリーディング③ (4つのブリーディング②)
- 4回 ブリーディング④ (交配に適した条件)
- 5回 ブリーディング⑤ (交配の取決め)
- 6回 ブリーディング⑥ (交配前の雌猫のコンディション)
- 7回 ブリーディング⑦ (法背後の母猫の管理)
- 8回 ブリーディング⑧ (受精・受胎確認)
- 9回 ブリーディング⑩ (出産準備①)
- 10回 ブリーディング⑪ (出産準備②)
- 11回 前期テスト
- 12回 前期テスト答え合わせ&不理解部分の説明
- 13回 ブリーディング⑫ (出産DVD)
- 14回 ブリーディング⑬ (出産前の母猫の変化)

2 学期

- 15回 ブリーディング (出産)

- 16回 ブリーディング (出産中のトラブル)
- 17回 ブリーディング (産後のトラブル)
- 18回 ブリーディング (人口哺乳①)
- 19回 ブリーディング (人口哺乳②)
- 20回 ブリーディング (性格の良い猫に育てる)
- 21回 ブリーディング (離乳食)
- 22回 血統書について
- 23回 老猫のケア①
- 24回 老猫のケア②
- 25回 老猫のケア③
- 26回 猫のシャンプー①
- 27回 猫のシャンプー②
- 28回 カラー遺伝①(ソリッド)
- 29回 カラー遺伝②(アグーチ)
- 30回 カラー遺伝③(優性・劣性)
- 31回 カラー遺伝④(ブラック遺伝・オレンジ遺伝)
- 32回 カラー遺伝⑤(半生遺伝)
- 33回 カラー遺伝⑥(両親から受け継ぐ遺伝)
- 34回 後期テスト
- 35回 後期テスト答え合わせ&不理解部分の説明
- 36回 総まとめ

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

「猫の教科書」

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

老猫のケアを実践し、成猫までのケア方法との違いに理解を深める

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

ショップゼミ演習

(授業概要)

ペットショップを実際に運営し、接客・発注・売り場作成などを行うことで、インターンシップ実習では経験できないペットショップの仕事の本質まで理解すると共に、就職した際に即戦力となるための実習をおこなう。また、就職にむけての意識を高める。

科	生命科学科	教員	橋本
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36×7時間

目標

1 学期

就職に向けて、専門学校の特徴は何か、授業はなんのためにあるのか、自分はどのような人間か、自分が目指す企業はどんな企業かを調べ、理解し、話せるようになる。ショップ実習室では、ショップ運営に必要なものとはなにかを理解し、実際に行動する。

2 学期

動物や自分の研究したことを人に伝えるということを意識して、グループごとに調べて人前で話す。ショップ実習室では、売上をあげることを意識したショップ運営を行い、実際に前期よりも売り上げを上げる。

授業計画

1 学期

- 1回 専門学校の特徴を知ろう/授業を知ろう
- 2回 自分を知ろう/ショップ実習室準備
- 3回 自分を知ろう/ショップ実習室準備
- 4回 業界を知ろう/ショップ実習室準備
- 5回 職業を知ろう/ショップ実習室準備
- 6回 企業を知ろう/ショップ実習室準備
- 7回 履歴書を作ろう/ショップ実習室準備
- 8回 履歴書を作ろう/ショップ実習室運営 A
- 9回 履歴書を作ろう/ショップ実習室運営 B
- 10回 面接練習/ショップ実習室運営 C
- 11回 面接練習/前期試験
- 12回 面接練習/前期試験返却
- 13回 面接練習/ショップ実習室運営 D
- 14回 前期のしよっぴい反省・改善/ショップ実習室準備

2 学期

- 15回 卒業研究発表に向けて/ショップ実習室運営 A

- 16回 卒業研究発表に向けて/ショップ実習室運営 B
- 17回 卒業研究発表に向けて/ショップ実習室運営 C
- 18回 卒業研究発表に向けて/ショップ実習室運営 D
- 19回 しょっぴい売上上げるための案だし/ショップ実習室運営 A
- 20回 しょっぴい売上上げるためのディスカッション/ショップ実習室運営 B
- 21回 動物特徴発表準備/ショップ実習室運営 C
- 22回 動物特徴発表準備/ショップ実習室運営 D
- 23回 動物特徴発表準備/ショップ実習室運営 A
- 24回 動物特徴発表準備/ショップ実習室運営 B
- 25回 動物特徴発表準備/ショップ実習室運営 C
- 26回 動物特徴発表/ショップ実習室運営 D
- 27回 動物特徴発表/ショップ実習室運営 A
- 28回 動物特徴発表/ショップ実習室運営 B
- 29回 卒業研究発表に向けて/ショップ実習室運営 C
- 30回 卒業研究発表に向けて/ショップ実習室運営 D
- 31回 卒業研究発表に向けて/ショップ実習室運営 A
- 32回 卒業研究発表に向けて/後期試験
- 33回 卒業研究発表に向けて/後期試験返却
- 34回 2年間振り返り/ショップ実習室運営 B
- 35回 自分の夢について/ショップ実習室運営 C
- 36回 ショップ実習室整理/ショップ実習室運営 D

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

グループディスカッション・実習

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

ペットショップにて POP や売り場作成を随時チェックする

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

ドッグトレーニング概論

(授業概要)

犬学 家庭犬のしつけ

犬との生活に必要なルールやマナーの構築

科	生命科学科	教員	高山美左
コース	SHOP ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

目標

1 学期

人と犬との生活について必要なハウスマナーの構築、教え方を理解する

2 学期

人と犬との暮らしの QOL を考え、クライアントに提供する知識、技術を得る

授業計画

1 学期

- 1回 実習の諸注意の確認、犬の散歩等の管理と取り扱いの確認、班分け、担当犬決め
- 2回 犬のボディランゲージ、ストレスサイン、カーミングシグナルの確認
- 3回 人と犬との生活について、リードプログラムの確認
- 4回 犬の学習とは/拮抗条件付けとオペラント条件付け 1
- 5回 犬の学習とは/拮抗条件付けとオペラント条件付け 2
- 6回 行動の強化と消去
- 7回 行動の般化と状況学習
- 8回 正の強化とトレーニングの概念
- 9回 強化の法則と強化スケジュール/強化子とは
- 10回 二次性強化子とは
- 11回 テスト
- 12回 テスト
- 13回 テスト返し、解答
- 14回 前期のまとめ

2 学期

- 15回 前期の復習

- 16回 犬の自発行動について1
- 17回 犬の自発行動について2
- 18回 犬の自発行動について3
- 19回 ドッグアクティビティについて
- 20回 ドッグアクティビティについて
- 21回 好ましくない行動の修正
- 22回 トイレトレーニング
- 23回 甘噛み いたずら噛み
- 24回 吠える犬の分類と防止
- 25回 飛びつき、人との挨拶
- 26回 散歩のルールとマナー
- 27回 拾い食い防止
- 28回 犬の健康と行動の関係
- 29回 犬のボディコンディショニング
- 30回 犬のシニア期における行動の変化1
- 31回 犬のシニア期における行動の変化2
- 32回 犬のQRLとは
- 33回 後期のまとめ
- 34回 テスト
- 35回 テスト
- 36回 テスト返し、解答

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学 実技実習

きょうざい
教材

テキスト、DVD、犬具、トレーニング用具等

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

実習犬の散歩等を通しての犬の管理や取り扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり、陽性強化法を用いた訓練を通し、正しい犬との関係性の構築の仕方を教える

プレゼンテーション概論

(授業概要)

円滑なコミュニケーションを行うために、内容の構成、話題の具体性を意識しながら、論理的に自分の話を開示できることを目指す。また、情報の受け手を考慮しながら、内容をどう伝えていくかも考察する。

科	生命科学科	教員	金海 泰
コース	SHP/WLL	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	72時間

目標

1 学期

抽象・具体、主観・客観を軸に、自分の考えをどう伝えるか考える。話の内容を構成する各部分の役割を理解し、適切な主張構成、具体例やエピソードの挿入等の重要性を理解する。

2 学期

主張・根拠・論拠・裏付け等の意味を理解し、論理的に意見を述べる技術の向上を目指す。また、感情と論理の違いを理解し、相手を説得する術を考察する。

授業計画

1 学期

- 1回 オリエンテーション 自己アピール① (自己分析)
- 2回 自己アピール② (インタビュー、具体例・エピソードを見つける)
- 3回 自己アピール③ (ジョハリの窓)
- 4回 自己アピール④ (自己の主張、自己の長所の把握)
- 5回 自己アピール⑤ (履歴書、面接準備)
- 6回 自己アピール⑥ (模擬面接)
- 7回 プレゼンテーションの意義・意味
- 8回 具定性と抽象性、主観性と客観性
- 9回 プレゼンテーションの戦略 (聞き手、場所、目的、主題)
- 10回 プレゼンテーションのシナリオ (話の流れ、話の構成)

- 11回 前期試験①
- 12回 前期試験②
- 13回 プレゼンテーションのデリバリー（日本語の特徴、非言語表現、スライド）
- 14回 プレゼンテーション実習①

2学期

- 15回 プレゼンテーション実習②
- 16回 プレゼンテーション実習③
- 17回 プレゼンテーション実習④
- 18回 プレゼンテーション実習⑤
- 19回 プレゼンテーション実習⑥
- 20回 プレゼンテーション実習⑦
- 21回 主題と話題、演繹法と帰納法
- 22回 主張・根拠・論拠・理由・裏付け
- 23回 具体例、ストーリー（知識・体験・見聞・たとえ・比喩の使い方）
- 24回 説得の方法・構成、本質を考える
- 25回 プレゼンテーション実習⑧
- 26回 プレゼンテーション実習⑨
- 27回 プレゼンテーション実習⑩
- 28回 プレゼンテーション実習⑪
- 29回 プレゼンテーション実習⑫
- 30回 プレゼンテーション実習⑬
- 31回 プレゼンテーション実習⑭
- 32回 プレゼンテーション実習⑮
- 33回 後期試験①
- 34回 後期試験②
- 35回 プレゼンテーション実習⑯
- 36回 1年間のまとめ

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、プレゼンテーション方式による各自発表

きょうざい 教材

なし

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

卒業発表、校外での啓発活動

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

ペットフード学

(授業概要)

ペットに関わるフード用品に関わる仕事（ペットショップスタッフ、卸など）を行う上で必要な基礎的な栄養学の知識やBCSの見方、メーカーごとの違い等を身につけ、フードごとの違いや接客ポイントを理解する

科	生命科学科	教員	橋本
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	36時間

目標

1学期

栄養学をフードの接客やパッケージの見方等で実践的に行うことができるように、五大栄養素やボディコンディションスコアの見方を覚え、説明できるようになる

2学期

フードの歴史やメーカーごとのフードの違い、メーカーの特徴を知り、実際にフードの接客ができるようになる。

授業計画

1学期

- 1回 栄養とは
- 2回 栄養素 タンパク質
- 3回 栄養素 タンパク質
- 4回 栄養素 糖質
- 5回 栄養素 脂質
- 6回 栄養素 脂質
- 7回 栄養素 ビタミン
- 8回 栄養素 ミネラル
- 9回 カロリー計算
- 10回 カロリー計算
- 11回 ボディコンディションスコア
- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却
- 14回 前期復習

2学期

- 15回 フードの歴史
- 16回 フードの歴史

- 17回 4D
- 18回 フードの種類
- 19回 ライフステージ
- 20回 ライフステージ
- 21回 アレルギーについて
- 22回 アレルギーについて
- 23回 アレルギー対応フードとは
- 24回 パッケージの見方
- 25回 酸化防止剤と合成添加物について
- 26回 手作り食について
- 27回 フードの分類
- 28回 販売時に覚えること
- 29回 フードのメーカーについて
- 30回 メーカーについて
- 31回 メーカーについて
- 32回 復習
- 33回 後期試験
- 34回 後期試験返却
- 35回 フードの接客実践（グループワーク）
- 36回 課題

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

ショップ実習室にて実際にフードの接客を行う

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

両生爬虫類学 II

(授業概要)

両生爬虫類 I に引き続き、各分類群の特徴について学び、実際の展示やそのアイデアとなるような知識（両生爬虫類を題材としたカルチャーや古代の両生爬虫類など）も学ぶ。

科	生命科学科	教員	大淵
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

目標

1 学期

動物界における爬虫類や両生類の系統的位置を理解することで、多種多様な両生爬虫類の特性を学び、飼育や展示に活かせるようになる。

2 学期

化石両生爬虫類までさかのぼり、就職後の各種展示づくりにも活かせるよう、より深い知識を身に付けてゆく。展示手法についても学んで行く。

授業計画

1 学期

- 1回 両生爬虫類 I の復習およびオリエンテーション
- 2回 進化のしくみ 1
- 3回 進化のしくみ 2
- 4回 進化のしくみ 3
- 5回 ヘビ類の進化 1
- 6回 ヘビ類の進化 2
- 7回 ミミズトカゲ類の進化
- 8回 ムカシトカゲ類の進化 1
- 9回 ムカシトカゲ類の進化 2
- 10回 試験対策
- 11回 試験
- 12回 試験フィードバック
- 13回 両生類の各目について
- 14回 2 学期に向けて

2 学期

- 15回 1 学期の復習など
- 16回 無尾類の進化 1
- 17回 無尾類の進化 2

- 18回 有尾類の進化
- 19回 無足類の進化
- 20回 両生爬虫類の飼育展示 1
- 21回 両生爬虫類の飼育展示 2
- 22回 両生爬虫類を題材とした展示論 1
- 23回 両生爬虫類を題材とした展示論 2
- 24回 古代の両生爬虫類 1
- 25回 古代の両生爬虫類 2
- 26回 恐竜と爬虫類 1
- 27回 恐竜と爬虫類 2
- 28回 恐竜と爬虫類 3
- 29回 鳥類と爬虫類
- 30回 哺乳類と爬虫類 1
- 31回 哺乳類と爬虫類 2
- 32回 魚類と両生類
- 33回 試験対策
- 34回 試験
- 35回 試験フィードバック
- 36回 総括

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、実演、プレゼン、各種動画など

きょうざい
教材

学研の図鑑 LIVE ポケット「爬虫類・両生類」

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

上野動物園両生爬虫類館での実務経験ほか。

動物人間関係学

(授業概要)

動物の保護・管理や愛護・福祉、及び環境衛生や野生動物問題などを主体として人間と動物の関係性について公衆衛生の観点から解説する。前半は動物を巡る社会学とも言える内容について、後半は仕事に直結する衛生学的知識または技術について学習する。

か科	生命科学科	きょういん 教員	橋本
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしやうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	36

目標

1 学期

- ・ HAB(Human Animal Bond)に関する内容が中心となる。AAT,AAA,AAE について正しい知識を会得するとともに、基礎的な内容を実践できるようになる。
- ・ ペット・ロスやアニマル・ウェルフェアも動物を巡る社会問題の説明ができるようになる。

2 学期

- ・ 環境衛生系問題や種々の野生動物問題など、広く人間社会と自然環境との摩擦に関して基本的知識を得て説明できるようになる。
- ・ 動物を扱うプロとして、特に知っておかねばならない衛生面の知識や技術を習得し、実践できるようになり、即戦力になる。

授業計画

1 学期

- 1回 ヒトと動物の絆
- 2回 AAT と AAA
- 3回 アニマル・セラピーの実際
- 4回 高齢者とペット
- 5回 臨床現場における動物の影響 (1) ①
- 6回 臨床現場における動物の影響 (1) ②
- 7回 臨床現場における動物の影響 (2) ①
- 8回 臨床現場における動物の影響 (2) ②
- 9回 動物介在教育 (AAE)
- 10回 ペット・ロス
- 11回 動物園・水族館
- 12回 産業動物愛界の実態とアニマル・ウェルフェア
- 13回 試験
- 14回 試験フィードバック

2学期

- 15回 外来種
- 16回 絶滅危惧種とレッド・リスト
- 17回 生物多様性の保存
- 18回 鳥獣被害の現状と対策
- 19回 動物検疫 ①
- 20回 動物検疫 ②
- 21回 洗浄・消毒・滅菌
- 22回 消毒薬（1）①
- 23回 消毒薬（1）②
- 24回 消毒薬（2）①
- 25回 消毒薬（2）②
- 26回 感染予防の基礎知識
- 27回 スタッフと動物の消毒
- 28回 仕事環境の衛生
- 29回 イヌ・ネコの健康管理
- 30回 ペットの外部寄生虫疾患（1）
- 31回 ペットの外部寄生虫疾患（2）
- 32回 注意すべき真菌性疾患
- 33回 予備日
- 34回 試験対策
- 35回 試験
- 36回 試験フィードバック

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

オリジナルのテキストに準じて進めて行く。

きょうざい 教材

特になし

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

関係書籍を読む。

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物関連法規学 II

(授業概要)

動物を扱う仕事（トリマーなど）をする上で必要となる法律に関する知識を身につける。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36

目標

1 学期

法律上の飼い主の責任などについて理解し、説明できるようになる。

2 学期

外来生物法などを理解し説明できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1回 授業概要説明
- 2回 法律上の飼い主責任（1）民法第718条
- 3回 法律上の飼い主責任（2）不法行為について
- 4回 法律上の飼い主責任（3）占有者の注意義務
- 5回 法律上の飼い主責任（4）過失相殺
- 6回 法律上の飼い主責任（5）実例
- 7回 法律上の飼い主責任（6）実例
- 8回 法律上の飼い主責任（7）実例
- 9回 法律上の飼い主責任（8）実例
- 10回 動物の法律上の位置づけ（1）概要
- 11回 動物の法律上の位置づけ（2）概要
- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却・解説
- 14回 動物の法律上の位置づけ（3）動物に財産を遺す場合

2 学期

- 15回 動物の法律上の位置づけ（4）動物に財産を遺す場合
- 16回 動物の法律上の位置づけ（5）動物を保護した場合に気を付けること
- 17回 動物の法律上の位置づけ（6）動物を保護した場合に気を付けること
- 18回 動物の法律上の位置づけ（7）動物を保護した場合に気を付けること
- 19回 マンションにおける動物問題（1）管理規約と使用細則

- 20回 マンションにおける動物問題 (2) 専有部分と共有部分
- 21回 マンションにおける動物問題 (3) 動物飼育可のマンション
- 22回 マンションにおける動物問題 (4) 動物飼育不可のマンション
- 23回 マンションにおける動物問題 (5) 動物飼育不可のマンション
- 24回 動物を預かる場合 (1) 寄託契約について
- 25回 動物を預かる場合 (2) 実例
- 26回 動物を預かる場合 (3) 実例
- 27回 後期試験
- 28回 後期試験返却・解説
- 29回 動物を譲り渡す場合 (1) 贈与契約
- 30回 動物を譲り渡す場合 (2) 実例
- 31回 動物を譲り渡す場合 (3) 実例
- 32回 トリマーの法的責任 (1) 請負契約
- 33回 トリマーの法的責任 (2) 実例
- 34回 獣医師法 (1) 獣医師の義務と役割
- 35回 獣医師法 (2) 獣医師の義務と役割
- 36回 2年総復習

授業の方法

講義

教材

なし

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

1回1回の授業ノートやプリントに関しポイントをまとめ直し、随時チェックする。

実務経験と授業科目の関係

あり

基礎健康管理学Ⅱ

(授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ。

か 科	生命科学科	きょういん 教員	石原 昌代
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	36時間

もくひょう 目標

1学期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。

最低限の応急処置、対応ができること、また、起こさない予防策、接し方を習得する。

実際の症例課題を与え、問題点、応急処置、対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

2学期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。

動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し、最終形である死、についても理解を深める。

じゅぎょうけいかく 授業計画

前期

- 1回 授業について
- 2回 エマージェンシーとは 状態確認の方法①
- 3回 状態確認の方法②
- 4回 外傷：応急処置①（小さな傷 大きな傷）
- 5回 外傷：応急処置②（出血）
- 6回 外傷：応急処置③（やけど）
- 7回 外傷：応急処置④（骨折）
- 8回 症例レポート
- 9回 前期復習
- 10回 試験範囲の説明（症例レポート提出）
- 11回 前期試験
- 12回 試験解答 説明
- 13回 外傷：応急処置⑤（ショック）
- 14回 その他：応急処置①（熱中症）

後期

- 15回 その他：応急処置②（眼球突出）
- 16回 その他：応急処置③（感電）
- 17回 その他：応急処置④（けいれん 発作）
- 18回 その他：応急処置⑤（溺水）
- 19回 その他：応急処置⑥（窒息）
- 20回 症例レポート
- 21回 中毒①
- 22回 中毒②
- 23回 心肺蘇生
- 24回 繁殖の管理
- 25回 分娩
- 26回 幼齢動物の飼育管理
- 27回 老齢動物の飼育管理
- 28回 安楽死 エンゼルケア グリーフケア
- 29回 安楽死 エンゼルケア グリーフケア
- 30回
- 31回 前期、後期の総復習
- 32回 前期、後期の総復習
- 33回 試験範囲の説明（症例レポート提出）
- 34回 後期試験
- 35回 試験解答、説明
- 36回 グループワーク（心臓マッサージと人工呼吸）

授業の方法

座学、グループワーク

教材

教科書 板書、動物

評価の方法

期末試験80%（症例レポート点含む）、出席率 20%

授業外での学習方法

症例レポート提出

実務経験と授業科目の関係

動物看護師

就職演習

(授業概要)

就職活動において必要な知識、スキル、また社会に出た際必要となるルールやマナーを学び、今後の就職活動や社会人になったときに活かせる知識を身につける。

科	生命科学科	教員	稲岡 愛
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

目標

1学期

自分を最大限アピールできる履歴書が書けるようになる。

インターンシップ実習にも活かせる社会のルールを知る。

2学期

社会に出たときのルール、マナーを学ぶ。

就職面接における受け答えをイメージし、シミュレーションできるようになる。

授業計画

1学期

- 1回 履歴書①
- 2回 履歴書②
- 3回 履歴書③/あいさつ
- 4回 履歴書④/あいさつ
- 5回 履歴書⑤/あいさつ
- 6回 来客対応①
- 7回 来客対応②
- 8回 電話対応①
- 9回 電話対応②
- 10回 名刺交換
- 11回 前期試験
- 12回 試験フィードバック
- 13回 序列
- 14回 前期のまとめ

2学期

- 15回 就職面接準備①/身だしなみ①
- 16回 就職面接準備②/身だしなみ②
- 17回 就職面接準備③/言葉づかい①

- 18回 就職面接準備④/言葉づかい②
- 19回 就職面接準備⑤/言葉づかい③
- 20回 話の聞き方①
- 21回 話の聞き方②
- 22回 話の聞き方③
- 23回 SNSについて①
- 24回 SNSについて②
- 25回 SNSについて③
- 26回 訪問①
- 27回 訪問②
- 28回 訪問③
- 29回 動物業界で就職するために①
- 30回 動物業界で就職するために②
- 31回 職場における人間関係
- 32回 社会人1年生に向けて
- 33回 試験
- 34回 試験フィードバック
- 35回 後期のまとめ
- 36回 総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

就職活動、インターンシップ実習の際の実践

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

昆虫学 II

(授業概要)

昆虫類は地球の幅広い環境に適応しているが、その優れた能力から我々が学ぶことは非常に多く、人類が豊かな生活をしていく上で「昆虫学」という科学分野は必要不可欠である。本授業ではまず、昆虫の多様性や、昆虫を取り扱う仕事について学習する。次に、標本や展示等、昆虫館等で働く上で必要となる知識や技術を習得する。さらに、昆虫観察会でのテクニックや、フィールドにおける調査方法等、昆虫に関わる業界で必要と思われる広い知識や技術の習得を目指す。

科	生命科学科	教員	西中
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36

目標

1 学期

昆虫の多様性について説明できる。

昆虫を扱う仕事について説明できる。

ペットとして人気のクワガタムシやカブトムシを含む昆虫類の飼育方法について説明できる。

2 学期

昆虫を扱う施設（昆虫館等）における展示方法について考案できる。

昆虫グッズや昆虫食等、昆虫ビジネスについて説明できる。

環境調査における重要種や特定外来生物等について説明できる。

授業計画

1 学期

1回 自己紹介、アイスブレイク、講義について

2回 昆虫の多様性①

3回 昆虫の多様性②

4回 昆虫を扱う仕事について

5回 クワガタムシ・カブトムシについて①

6回 クワガタムシ・カブトムシについて②

7回 課題対応

8回 昆虫の飼育①

9回 昆虫の飼育②

10回 標本について①

11回 試験対策

- 12回 試験
- 13回 試験フィードバック
- 14回 標本について②
- 15回 昆虫を扱う施設紹介

2 学期

- 16回 夏季課題発表
- 17回 展示について①
- 18回 展示について②
- 19回 昆虫の調査方法①
- 20回 昆虫の調査方法②
- 21回 昆虫の調査方法③
- 22回 観察会での昆虫紹介テクニック
- 23回 昆虫食について
- 24回 昆虫グッズについて
- 25回 生物模倣と昆虫
- 26回 昆虫関連の学会・同好会等
- 27回 重要種について①
- 28回 重要種について②
- 29回 特定外来生物について
- 30回 日本の昆虫の衰亡要因①
- 31回 日本の昆虫の衰亡要因②
- 32回 日本の昆虫の衰亡要因③
- 33回 日本の昆虫の衰亡要因④
- 34回 試験対策
- 35回 試験
- 36回 試験フィードバック、1年間のまとめ

授業の方法

講義、グループワーク

教材

必要に応じて参考資料を配布する。

評価の方法

期末試験80%、授業態度・出席率20%

授業外での学習方法

授業で学んだことを復習することに加え、身近な昆虫の名前を少しでも多く覚えるよう自主的に学習する。

実務経験と授業科目の関係

大阪府立大学大学院生命科学研究科 元客員研究員。箕面公園昆虫館 元スタッフ。万博記念公園自然観察学習館 元指導員。関西大学 元非常勤講師。

生体管理学

(授業概要)

飼育棟や爬虫類の動物飼育実習を通して、就職に必要な動物のハンドリング方法や飼育管理方法を身につけると共に、動物のストレスを軽減させるために効率の良い作業方法を学ぶ。

また、ペットとして人気になりつつあるハリネズミ、デグー、鳥、フクロモモンガの分類や生態、特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

か科	生命科学科	きょういん 教員	橋本
コース	ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしやうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	36時間

目標

1 学期

小動物のハンドリングや健康チェックを行いながら、ケージの掃除や飼育棟内の清掃を 50 分以内に終わらせ、効率の良い作業方法を習得する

デグー、ハリネズミ、フクロモモンガの生態や歴史、飼育時の注意点、病気メカニズムや症状などを理解し説明できるようになる。

2 学期

小動物に加えて爬虫類のハンドリング、健康チェック方法もマスターし、爬虫類ならではのガラスケージなどの掃除方法も習得する。

また、鳥の生態や歴史、飼育時の注意点、病気メカニズムや症状などを理解し説明できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1 回 飼育棟実習/デグー分類・生態・歴史
- 2 回 飼育棟実習/デグーからだの特徴・カラー
- 3 回 飼育棟実習/デグーフード用品
- 4 回 飼育棟実習/デグー病気
- 5 回 飼育棟実習/ハリネズミ分類・生態・歴史
- 6 回 飼育棟実習/ハリネズミからだの特徴
- 7 回 飼育棟実習/ハリネズミ病気
- 8 回 飼育棟実習/フクロモモンガ分類・生態・歴史
- 9 回 飼育棟実習/フクロモモンガからだの特徴
- 10 回 飼育棟実習/フクロモモンガフード用品
- 11 回 飼育棟実習/フクロモモンガ病気
- 12 回 前期試験
- 13 回 前期試験返却

14回 飼育棟実習/総復習（健康チェック実践）

2学期

15回 飼育棟実習/鳥分類・歴史

16回 飼育棟実習/鳥からだの特徴

17回 飼育棟実習/鳥からだの特徴

18回 飼育棟実習/鳥からだの特徴

19回 飼育棟実習/鳥食性

20回 飼育棟実習/鳥消化器官

21回 飼育棟実習/鳥種類オウム目

22回 飼育棟実習/鳥種類セキセイインコ

23回 飼育棟実習/鳥種類オカメインコ

24回 飼育棟実習/鳥種類ボタンインコ

25回 飼育棟実習/鳥種類コザクラインコ

26回 飼育棟実習/鳥種類スズメ目

27回 飼育棟実習/鳥種類ブンチョウ

28回 飼育棟実習/鳥種類ジュウシマツ

29回 飼育棟実習/鳥種類カナリア

30回 飼育棟実習/鳥飼育用品

31回 飼育棟実習/鳥フード

32回 飼育棟実習/鳥ケア

33回 後期試験

34回 後期試験返却/鳥病気

35回 飼育棟実習/鳥病気

36回 課題

授業じゆぎやうの方法ほうほう

講義、実習

教材きやうざい

カラーアトラス エキゾチックアニマル 哺乳類編・鳥類編

評価ひやうかの方法ほうほう

期末試験80%、出席率 20%

授業外じゆぎやうがいでの学習がくしゆ方法ほうほう

小動物のハンドリングや健康チェック

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

生体管理概論実習 II

(授業概要)

アクアリウムショップなどの施設において水槽管理をする上で使用する機材また道具の基本的な使用方法を学習する。また売上を上げるために必要な知識、水槽の見せ方などを学習する。

科	生命科学科	教員	山内
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36

目標

1 学期

ペットショップで取り扱われていることが多い、魚種の飼育方法や機材の使用方法を理解し、担当水槽において実践できるようにする。

2 学期

主に熱帯魚を中心とした水槽でのレイアウトの基本を理解し、見る人にとっての価値を高めることができる水槽を作成できるようにする。また、実習においてポップなどを用いて水槽内だけではなく、

授業計画

1 学期

- 1回 水槽立ち上げ方について【復習】/地下水槽管理【実習】
- 2回 外部フィルターについて/地下水槽管理【実習】
- 3回 外掛けフィルター・底面フィルターについて/地下水槽管理【実習】
- 4回 投げ込み式フィルター/地下水槽管理【実習】
- 5回 ろ過機材について④（投げ込み式フィルター・その他）/地下水槽管理【実習】
- 6回 ろ過機材について⑤（オーバーフロー式）/地下水槽管理【実習】
- 7回 ろ過機材について（メンテナンス方法）/地下水槽管理【実習】
- 8回 ろ過機材について（実践）/地下水槽管理【実習】
- 9回 カラシンについて/地下水槽管理【実習】
- 10回 メダカの仲間について/地下水槽管理【実習】
- 11回 シクリッド/ナマズの仲間について/地下水槽管理【実習】
- 12回 アナバス/その他の仲間について/地下水槽管理【実習】
- 13回 試験
- 14回 試験フィードバック/地下水槽管理【実習】

2 学期

- 15回 照明器具について①（蛍光灯）（LED）/地下水槽管理【実習】
- 16回 照明器具について②（メタルハライドランプ）/地下水槽管理【実習】
- 17回 餌について①（人工餌）/地下水槽管理【実習】

- 18回 餌について②（乾燥餌）/地下水槽管理【実習】
- 19回 餌について③（冷凍餌）/地下水槽管理【実習】
- 20回 餌について④（生き餌）/地下水槽管理【実習】
- 21回 水温管理において（ヒーター）（クーラー）/地下水槽管理【実習】
- 22回 ろ過バクテリアと水質について/地下水槽管理【実習】
- 23回 水草について①/地下水槽管理【実習】
- 24回 水草について②/地下水槽管理【実習】
- 25回 水草トリミング方法について/地下水槽管理【実習】
- 26回 レイアウト構図について/地下水槽管理【実習】
- 27回 レイアウト構図について/地下水槽管理【実習】
- 28回 レイアウト実践①
- 29回 レイアウト実践②
- 30回 サンゴについて①
- 31回 サンゴについて②
- 32回 メンテナンス道具について
- 33回 試験前 事前復習/地下水槽管理【実習】
- 34回 試験
- 35回 試験フィードバック/地下水槽管理【実習】
- 36回 1年間の振り返り/地下水槽管理【実習】

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、実演、実習

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

担当水槽におけるの通常メンテナンス

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

経営概論

(授業概要)

経営の全体像を俯瞰的に見、企業活動の方向性と意味を理解する。また、経営や意思決定を行っていくうえで直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。組織活動における人・モノ・金・情報の流れを理解する。

科	生命科学科	教員	金海 泰
コース	TCA/SHP	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	72時間

目標

1 学期

経営戦略を学習し、企業活動・経営活動の意義・意味を理解する。企業活動の方向性、成長戦略、競争戦略の諸理論の理解を通して、現状を把握し、その状況を打開するための下地を構築する。

2 学期

マーケティングを学習し、それらを実施していくうえでの重要ポイントの網羅と、それぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。経営や業務遂行のための実践的な知識・思考の獲得を目指していく。

授業計画

前期

- 1回 経営戦略とは、マーケティングとは
- 2回 経営戦略（経営理念、企業のごだわり、理念と戦略）
- 3回 経営戦略（経営理念、理念と業務、理念と優先順位）
- 4回 経営戦略（環境分析、マクロ環境とミクロ環境、日本特有の環境）
- 5回 経営戦略（環境分析、SWOT分析）
- 6回 成長戦略（成長ベクトル、企業成長の過程）
- 7回 成長戦略（多角化戦略、さらなる成長のために）
- 8回 成長戦略（事業ポートフォリオ、事業と資金の循環）
- 9回 成長戦略（事業ポートフォリオ、経験の成果と製品の循環）
- 10回 成長戦略（内部成長方式と外部成長方式、自己成長、提携）
- 11回 前期試験①
- 12回 前期試験②
- 13回 成長戦略（買収・合併、顧客・組織文化・人の同質化の難しさ）
- 14回 競争戦略（コトラーの競争構造、競争構造の影響）

後期

- 15回 競争戦略（バリューチェーン、企業価値をつくるもの）
- 16回 競争戦略（3つの基本戦略、コスト・差別化・集中）
- 17回 競争戦略（競争地位別戦略、リーダーの戦略）
- 18回 競争戦略（競争地位別戦略、リーダーに対抗する戦略）
- 19回 マーケティング（マーケティングの定義・コンセプト・要素）
- 20回 マーケティング（標的市場の設定と接近、顧客を分ける）
- 21回 マーケティング（標的市場の設定と接近、ターゲットと位置付け）
- 22回 マーケティング（製品、定義・概念、分類）
- 23回 マーケティング（製品、製品と経営戦略、PLC、計画的陳腐化）
- 24回 マーケティング（製品、プロダクトミックス、品揃えの意味）
- 25回 マーケティング（製品、ブランドの定義・機能・利点・戦略）
- 26回 マーケティング（製品、サービス、特性・成否をわかるもの）
- 27回 マーケティング（プロモーション、プロモーション戦略体系）
- 28回 マーケティング（プロモーション、広告の定義・意味）
- 29回 マーケティング（プロモーション、媒体戦略と表現戦略）
- 30回 マーケティング（プロモーション、PR、人的販売、販売促進）
- 31回 マーケティング（価格、価格設定のためのWHO・WHAT・WHEN）
- 32回 マーケティング（価格、価格計画・価格政策）
- 33回 後期試験①
- 34回 後期試験②
- 35回 マーケティング（プレイス、流通チャネルの機能・戦略）
- 36回 1年間のまとめ

授業の方法

講義、グループ活動

教材

なし

評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

飼育用品概論 II

(授業概要)

ペットショップ・アニマルカフェなどの施設において生体管理をする上で使用する機材また道具の基本的な使用方法を学習する。また、メーカーごとの特徴や用品のアレンジ方法なども理解する。

科	生命科学科	教員	山内
コース	ショップゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36

目標

1 学期

ペットショップで取り扱われていることが多い、爬虫類の飼育方法や機材の使用方を理解し、校内の生体管理において実践できるようにする。

2 学期

生体ごとの望ましいレイアウト方法を理解し、メーカーごとの特徴を理解する。

授業計画

前期

- 1回 アイスブレイク
- 2回 爬虫類とはどんな生き物か（昼行性）
- 3回 爬虫類とはどんな生き物か（夜行性）
- 4回 用品解説：ケージ①
- 5回 用品解説：ケージ②
- 6回 用品解説：シェルター①
- 7回 用品解説：シェルター②
- 8回 用品解説：トイレ
- 9回 用品解説：運動器具
- 10回 用品解説：遊び道具
- 11回 用品解説：床材
- 12回 試験対策
- 13回 前期試験
- 14回 試験返却

後期

- 15回 用品解説：保温器具
- 16回 用品解説：保冷器具
- 17回 用品解説：ライト（紫外線）

- 18回 用品解説：ライト（バスキング）
- 19回 メンテナンスについて（爪切り・温浴）
- 20回 用品解説：給水器、餌皿
- 21回 用品解説：フード（草食性）
- 22回 用品解説：フード（肉食・雑食性）
- 23回 用品解説：おやつ
- 24回 用品解説：サプリメント
- 25回 爬虫類の販売形態について
- 26回 系統とモルフについて①
- 27回 系統とモルフについて②
- 28回 系統とモルフについて③
- 29回 ペット保険について
- 30回 爬虫類の病気と診察①
- 31回 爬虫類の病気と診察②
- 32回 ペット業界が抱える問題点
- 33回 試験対策
- 34回 後期試験
- 35回 試験返却
- 36回 授業振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学

きょうざい
教材

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

生体管理実習での生体管理

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

ペットショップでのアクア・小動物コーナー担当経験あり